

高教研情第03-1号  
令和5年(2023年)7月7日

関係高等学校長 様

北海道高等学校教育研究会長  
(北海道札幌旭丘高等学校長)

相 沢 克 明

北海道高等学校教育研究会情報部会長  
(北海道室蘭東翔高等学校長)

朝 倉 洋 一

北海道高等学校教育研究会情報部会キャラバン研究会の開催について (ご案内)

盛夏の候、貴職におかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。また、本会の運営および活動に対しまして、平素より格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、本会では、標記の通りキャラバン研究会を開催いたします。

このキャラバン研究会では、情報科が目指す教育の成果が全道にしっかりと根付き、生徒の学習意欲が高まることなどを目指して、実務的な研修を行います。学校事情などにより1月の研究大会に参加できない先生方、特に都市部から離れた地で「情報」を一人で担当して悩みを抱えている先生などに、ぜひ研修の機会を設けたいと情報部会会員の創意で始めたものです。

また、このようなキャラバン研究会の趣旨から、情報に対する見方や考え方といった知見を他教科の学習活動やそれ以外の教育活動にも活かそうとする、情報科以外の先生方にも数多く参加していただきたいと願っております。

つきましては、時節柄ご多忙の中とは存じますが、情報教育に広く興味・関心を持つ先生方に対するキャラバン研究会の周知と参加について、特段のご配慮をお願い申し上げます。

記

添付書類

1. 開催要項

高教研情第03-2号  
令和5年(2023年)7月7日

情報科担当教諭  
情報機器等の活用に関心がある教職員 様

北海道高等学校教育研究会長  
(北海道札幌旭丘高等学校長)  
相 沢 克 明  
北海道高等学校教育研究会情報部会長  
(北海道室蘭東翔高等学校長)  
朝 倉 洋 一

北海道高等学校教育研究会情報部会キャラバン研究会の開催について (ご案内)

盛夏の候、貴職におかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。また、本会の運営および活動に対しまして、平素より格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、本会では、標記の通りキャラバン研究会を開催いたします。

このキャラバン研究会では、情報科が目指す教育の成果が全道にしっかりと根付き、生徒の学習意欲が高まることなどを目指して、実務的な研修を行います。学校事情などにより1月の研究大会に参加できない先生方、特に都市部から離れた地で「情報」を一人で担当して悩みを抱えている先生などに、ぜひ研修の機会を設けたいと情報部会会員の創意で始めたものです。

また、このようなキャラバン研究会の趣旨から、情報に対する見方や考え方といった知見を他教科の学習活動やそれ以外の教育活動にも活かそうとする、情報科以外の先生方にも数多く参加していただきたいと願っております。

つきましては、時節柄ご多忙の中とは存じますが、皆様にキャラバン研究会にご参加いただきたく、ご案内申し上げます。

記

添付書類

1. 開催要項

北海道高等学校教育研究会 情報部会  
キャラバン研究会（サマースクール in 札幌）開催要項

1 日時 令和5年8月1日（火） 9：45～15：30

2 主催 北海道高等学校教育研究会（情報部会）

3 会場 北海道札幌北高等学校（3階コンピュータ教室）

〒001-0025 札幌市北区北25条西11丁目 Tel 011-736-3191 Fax011-736-3193

4 時程

9:45	10:00	10:10	12:00	13:00	15:00	15:30
受付	開会式	ワーク ショップ1	休憩 (昼食)	ワーク ショップ2	情報交換会 閉会式	

5 サマースクールとは

キャラバン研究会とは高教研情報部会が主催している、様々なテーマに沿ったワークショップを道内各地で開催する研究会のことです。これは情報科が目指す教育の成果が全道にしっかりと根付き、生徒の学習意欲が高まることなどを目指したものです。学校事情などにより1月の研究大会に参加できない先生方、特に都市部から離れた地で教科情報を一人で担当して悩みを抱えている先生などに、ぜひ研修の機会を設けたいと情報部会会員の創意で始めたものです。

中でも、夏のキャラバン研究会はコンピュータやネットワークに関する知識や技術の向上を目的とした内容を実施しています。私たちは日頃から授業に活用できる多くのことを学びたいと考えていますが、なかなか実現できずにいます。そこで夏期実施のキャラバン研究会をサマースクールと銘打ち、体験的な学習を集中して取り組める場としたいと考えています。

ここ数年は、今回と同様にプログラミングについてのワークショップを2日間連続で行ってきました。今回は、北海道高校総体の兼ね合いもあり、1日間の短期集中学習としました。

6 ワークショップのテーマ・講師・内容

- ・ワークショップ1「Teachable Machine と Google Colab のコードスニペットと Python と」  
ファシリテーター 北海道札幌北高等学校教諭 前田 健太郎 氏

Teachable Machine というサイトを利用すると、画像や音声などの機械学習モデルを簡単につくることができます。また、Google Colab にはコードスニペットというコードの断片が用意されており、簡単に Web カメラの画像を取り込むことができます。これらを利用して Python でじゃんけんの手を画像認識してコンピュータと対戦するプログラムを作成します。

※Web カメラのついているノート PC をご持参ください。

- ・ワークショップ2「Python を活用した自然言語処理の体験」

ファシリテーター 北海道帯広緑陽高等学校教諭 宮川 尊充 氏

近年、生成 AI と自然言語処理の技術は急速に進歩しており、さまざまな分野で活用されています。例えば、ニュース記事の自動生成、翻訳、テキストの要約、質問応答、画像生成などに至るまでです。このワークショップでは、生成 AI と自然言語処理の技術の基礎的な内容に触れ、Python を活用しながら実際に手を動かして、自然言語処理の技術を体験します。

7 参加費 無料

- 8 参加申し込み方法 以下のURLまたはQRコードから申し込み用のフォームにアクセスをして必要事項を入力の上、申し込みをお願いします。

※回答時のアドレスは問いませんが、申し込み内容の中に「@gmail.com」のアドレスを入力する項目があります。



※URL <https://onl.tw/1FctSA2> URLのQRコード

9 参加申し込み締め切り 7月24日(月)

※申し込み後に確認のメールを送信します。確認のメールが届かない場合は、帯広三条高校(0155-37-5501)の土田までお電話ください。

10 その他・注意事項

- ・研究会への参加は本研究会会員である必要はありません。
- ・今回は対面形式での実施をメインとしております。  
※オンラインでの参加対応も可能ですが、ワークショップの際に個々に応じたサポートが難しく、対応できない場面も想定されます。可能な限り対面でのご参加をお願いします。
- ・昼食(750円)を希望される場合は、参加申し込み時に承ります。  
※昼食の代金は、当日受付にてお支払いください。  
(当日の追加、キャンセルは対応できかねますのでご了承ください)
- ・研究会終了後、17:00より札幌駅近辺で懇親会を予定しております。ご都合がございましたら、ぜひご参加ください。
- ・「@hokkaido-c.ed.jp」のドメインでは、他のドメインのClassroomに入ることができないため、申し込み時に「@gmail.com」ドメインのアドレス入力にご協力をお願いします。
- ・当日は、ワークショップ1にて、Webカメラ付きのノートPCが必要となります。
- ・不明な点がございましたら、帯広三条高校(0155-37-5501)土田までお問い合わせください。